

地域密着の公明に信頼

訪問対話で実現力磨く

五輪後の需要減対策 万全に

東京夏季研で山口代表



党東京都本部の夏季議員研修会であいさつする山口代表=21日 都内

公明党の山口那津男代表（木陽介衆院議員）の夏季議
は21日午後、都内で行われ、員研修会に出席し、来年春
た党東京都本部（代表＝高）の統一地方選、夏の参院選

に向けた党勢拡大の取り組
みについて、「地域に密着
した議員一人一人への信頼
が公明党の財産だ。努力し
て勝ち得た信頼こそ、次へ
の党の飛躍につながる」と
述べ、現場主義に徹した闘
いを呼び掛けた。

山口代表は、地域に根差
した具体的な取り組みとし
て党が展開した「100万
人訪問・調査」運動の成果
を強調。「生活者の声を形
にして実現する公明党の力
に期待しているのが庶民の
思いだ。これからも、訪問

対話に徹していくことが実
現力を磨くとの自覚で、次
の闘いをスタートしよう」と
訴えた。

9月13日告示、同30日投
票の沖縄県知事選について
は、公明党本部として佐喜
真淳氏への推薦を決定した
と報告し、9月の沖縄統一
選を含め、「沖縄の勝利が
来年の統一地方選、参院選
の勝利につながる」と語っ
た。

当面の政治課題では、経
済再生を挙げ、来年10月の
消費税率10%への引き上げ
と同時に軽減税率を円滑
に導入し、消費者の痛税感
を和らげると力説。202
0年の東京五輪・パラリン

ピック後の需要減に対して
も予算措置などを通じ対策
に万全を期す考えを示し
た。

一方、太田昭宏全国議員
団会議長は、西日本豪雨
災害などを踏まえ、「防災
・減災対策の充実へ公明党
が先頭に立って国民の命を
守り抜く」と語った。

研修会では、矢倉かつお
参院議員（参院選予定候補
＝埼玉選挙区）が「対話を
通じて、大衆直結の政治
を進める」と強調。平木だ
いさく参院議員（同比例
区）は「自らが党勢拡大の
先頭に立つ」と決意を述べ
た。

このほか、「フレイル（高
齢者の心身機能の低下）予
防を通じた健康長寿のまち
づくり」をテーマに東京大
学高齢社会総合研究機構の
飯島勝矢教授が、地域の民
間中核病院と在宅との連携
について東京都病院協会常
任理事の大坪由皇子・三軒
茶屋病院院長が講演。阿久
津広王・品川区議、海部智
子・板橋区議が党勢拡大の
取り組みを報告した。

高木都代表、高木美智代
同代表代行（衆院議員）、
竹谷とし子同副代表（参院
議員）が出席した。